

授業科目名	成人看護学概論	担当教員	教授 若崎淳子 講師 伊藤奈美 助教 井上和子・佐藤亜美
開講年次及び学期	2年 後期	必修・選択の別	必修
開講形態	講義	時間数	30
		単位数	2
授業概要 ライフサイクルにおける成人期にある人の特徴を理解し、成人を取り巻く生活並びに今を生きる時代や社会を踏まえた健康問題とその対応について学習する。また、保健医療の動向に注目する。そして、個人や家族及び社会におけるさまざまな集団を看護の対象として、健康レベルに応じた保健活動や看護の果たす役割、成人看護の基盤となる考え方や成人看護に用いる基礎理論を学ぶ。			
G I O（一般目標） 1. ライフサイクルにおける成人期にある人の特徴を理解し、成人を取り巻く生活並びに今を生きる時代や社会を踏まえた健康問題とその対応について学習する。 2. 保健医療の動向を理解し、個人や家族及び社会におけるさまざまな集団を看護の対象として、健康レベルに応じた保健活動や看護の果たす役割、成人看護の基盤となる考え方や成人看護に用いる基礎理論を学ぶ。			
S B O（行動目標） 1. 成人期にある人をライフサイクルの視点から理解し、説明できる。 2. 成人各期の身体機能と心理・社会的特徴を理解し、説明できる。 3. 成人看護実践での活用に向けて、成人期の発達課題と関連する理論を解釈できる。 4. データを概観し、成人保健の動向を具体的に述べるができる。 5. 健康レベルに応じた看護の特徴を説明できる。 6. 成人看護における倫理的諸問題とその解決過程を理解し、看護の役割と支援について検討・討議できる。 7. 成人期の健康問題を理解し、健康支援について検討・討議できる。 8. 実践での活用に向けて、成人看護に用いる基礎理論を解釈できる。			
成績評価の方法 [定期試験] 60%（授業内容全般にわたる理解を記述式の試験により確認する。） ※ただし、36点(6割)以上の得点を求める。 [レポート] 30%（成人保健と成人の健康問題に関する課題学習を課す。その展開状況により評価する。） [受講態度] 10%（毎回のリアクションペーパーの記述より、理解の内容を確認する。） ※出席状況は毎時のリアクションペーパーにより確認する。			
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材 [教科書] 大西和子・岡部聡子編「成人看護学概論」（ヌーヴェルヒロカワ）(最新版) [参考書] 「厚生 の 指標 国民衛生の動向」（(財)厚生統計協会）(最新版) その他：必要に応じて授業の中で紹介する。			

授業計画

回数	授業日	時間	内 容	学習形態	担当
1	9月30日(月)	13:00~14:40	ガイダンス 成人期にある人の理解: (1)ライフサイクルと成人期 成人期にある人の理解: (2)成人各期の身体機能と心理・社会的特徴	講義	若崎
2	10月7日(月)	13:00~14:40	成人期にある人の理解: (3)成人期の発達課題と関連する理論	講義	若崎
3	10月15日(火)	13:00~14:40	成人保健の動向 その1	講義	井上
4	10月28日(月)	13:00~14:40	成人保健の動向 その2	講義	伊藤
5	11月11日(月)	13:00~14:40	健康レベルに応じた成人期の看護	講義	若崎
6	11月18日(月)	13:00~14:40	成人看護における倫理と看護者の役割 (1)看護者が直面する倫理的問題と倫理的意思決定の基準	講義	若崎
7	11月25日(月)	13:00~14:40	成人看護における倫理と看護者の役割 (2)倫理的問題の解決過程、事例検討	講義 グループ 討議	若崎 伊藤
8	12月2日(月)	13:00~14:40	成人の生活と健康問題: 生活習慣病・悪性新生物・自殺・過労死/突然死・職業性疾病等	講義	若崎 伊藤 井上
9	12月9日(月)	13:00~14:40	成人の生活と健康問題・健康支援	グループ ワーク	若崎 伊藤
10	12月16日(月)	13:00~14:40	成人の生活と健康支援	グループ 発表	若崎 伊藤 井上 佐藤
11	12月16日(月)	16:50~18:30	成人の生活と健康支援	グループ 発表	若崎 伊藤 井上 佐藤
12	1月6日(月)	13:00~14:40	成人看護に用いる理論: ストレス・コーピング、危機理論、悲嘆	講義	若崎
13	1月20日(月)	13:00~14:40	成人看護に用いる理論: 生体侵襲理論、セルフケア理論、アンドラゴジー	講義	若崎
14	1月27日(月)	13:00~14:40	成人看護に用いる理論: 自己効力理論、アドヒアランス等	講義	若崎

教室: N21